第4学年ICT活用実践事例

【タイトル】　夏の季語を調べよう

教　科	国語	**単　元**	夏の楽しみ
活用するアプリ	ロイロノート	**活用する場面**	（導入）・　展開　・　まとめ

児童の活動

　歳時記を活用し、夏を連想する言葉を検索し、夏の季語かどうかを確かめる。

実践内容（教師の支援）

　事前に検索の仕方を説明し、スムーズに活動を行わせる。

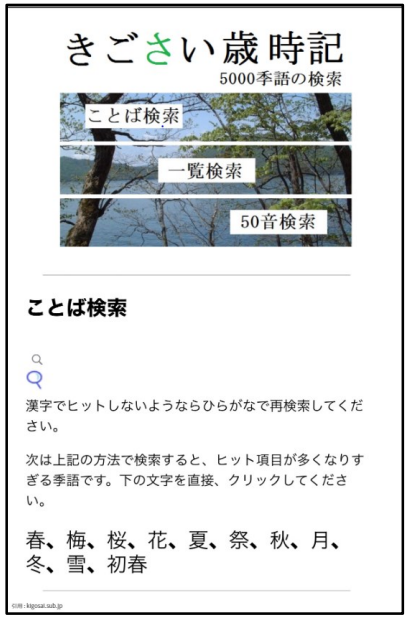
活用の効果

　夏の季語だと思っていたものが、季語でなかったり、秋の季語だったりと、新たな発見をさせることができた。

活用時の留意点

　事前に夏を連想する言葉を例として出させる。

授業の様子（写真・参考資料）



【使用した電子ワークシート】

教材等保存場所	ロイロノート資料箱→各学年→４年→各教科→国語

【タイトル】　モーターカーを動かす工夫を紹介する

教　科	理科	単　元	電気のはたらき
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入　・　展開　・　まとめ

児童の活動

　電気の働きを調べ、乾電池のつなぎ方の違いでモーターや豆電球の動きに違いが出てくることを利用してモーターカーを動かす工夫をする。その工夫の紹介をロイロノートの提出を使って行う。

実践内容（教師の支援）

　動画を撮影するところから児童が協力しないといけない場を用意できた。動画をロイロノートで利用する方法を教え、児童同士でも教え合うことができるようにした。

活用の効果

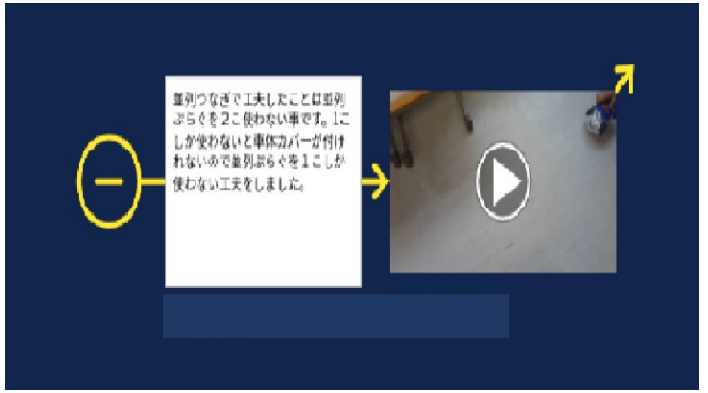
　協力することで、学習したことを活用してより良く工夫する場が設定でき、工夫が思い付かない児童が参考にすることができた。

活用時の留意点

　動画が長すぎるとロイロノートで再生する時間が掛かりすぎるので、動画は2、3秒と短くさせる工夫が必要。

授業の様子（写真・参考資料）

【活動の様子】



【児童が作成した紹介シート】

教材等保存場所	ロイロノート資料箱→各学年→理科→各教科→理科

【タイトル】漢字の部首と部首じゃないものを組み合わせて漢字をつくる

教　科	国語	単　元	漢字の組み立て
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入 ・ 展開 ・ まとめ

児童の活動

３年生で学習した「へん」や「つくり」について、ロイロノートを使って合体漢字をつくる練習をし、習熟を図る。「へん」や「つくり」以外の部首でも同様な作業を行い、合体漢字をつくる。

実践内容（教師の支援）

黒板では、つくった漢字を「かんむり」「かまえ」「にょう」「あし」ごとに分けて整理し、整理したことから共通点を挙げさせて、それぞれの特徴を理解させる。

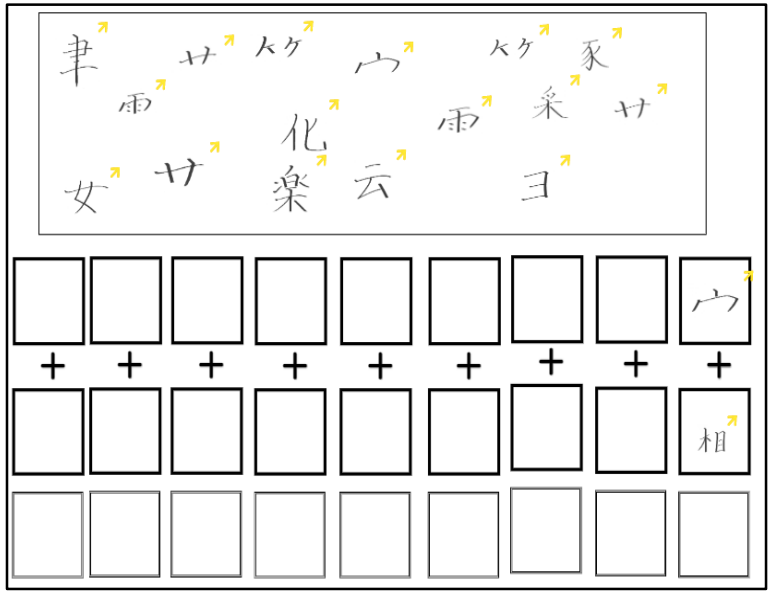
活用の効果

一人一人が手元で作業し、活動時間を短縮することができた。また、間違えた組み合わせがあっても、簡単に修正することができた。

活用時の留意点

部首と部首ではないものを組み合わせた状態を表すことができず、黒板で正しい漢字を確認した。

授業の様子（写真・参考資料）



【使用した電子ワークシート】

教材等保存場所	ロイロノート資料箱→各学年→４年→各教科→国語

【タイトル】自分の好きな時刻と時間を英語で紹介しよう

<table>
<tr><td>教　科</td><td>外国語</td><td>単　元</td><td>Unit4 「What time is it?」</td></tr>
<tr><td>活用するアプリ</td><td>ロイロノート</td><td>活用する場面</td><td>導入　・　(展開)　・　まとめ</td></tr>
<tr><td colspan="3">児童の活動
　自分の好きな時刻と時間を電子ワークシートを活用し、相手に分かりやすく英語で紹介する。</td><td rowspan="4">授業の様子（写真・参考資料）

【使用した電子ワークシート】

【言語活動中の様子】</td></tr>
<tr><td colspan="3">実践内容（教師の支援）
　事前にPDF化した文科省の電子ワークシートをロイロノートで配付し、電子黒板を通して記入の仕方を説明する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">活用の効果
　PC内でワークシートの作成が完結することで、授業内での配付・記入・保管の時間が省けるため、言語活動に時間が多くとれた。</td></tr>
<tr><td colspan="3">活用時の留意点
　事前に言語活動の内容をタブレットなしで練習させる。タブレットは分かりやすく紹介するための「ツール」として利用することを意識させるなど、活用の仕方を考えさせる。</td></tr>
<tr><td>教材等保存場所</td><td colspan="3">ロイロノート資料箱→各学年→4年→各教科→外国語</td></tr>
</table>

【タイトル】本の紹介をしよう

教　科	国語	単　元	本を読もう
活用するアプリ	Scratch(スクラッチ)	活用する場面	導入　・　展開　・　(まとめ)

児童の活動

　教科書教材の学習後、自分のおすすめの本についてスクラッチを使って読書紹介のプレゼンテーション資料をつくり、読書紹介をした。

実践内容（教師の支援）

　まず教師が見本のプレゼンテーションをつくって、完成品のイメージが持てるようにした。見通しを持って活動に取り組めるように、プログラムの手順を黒板に掲示した。

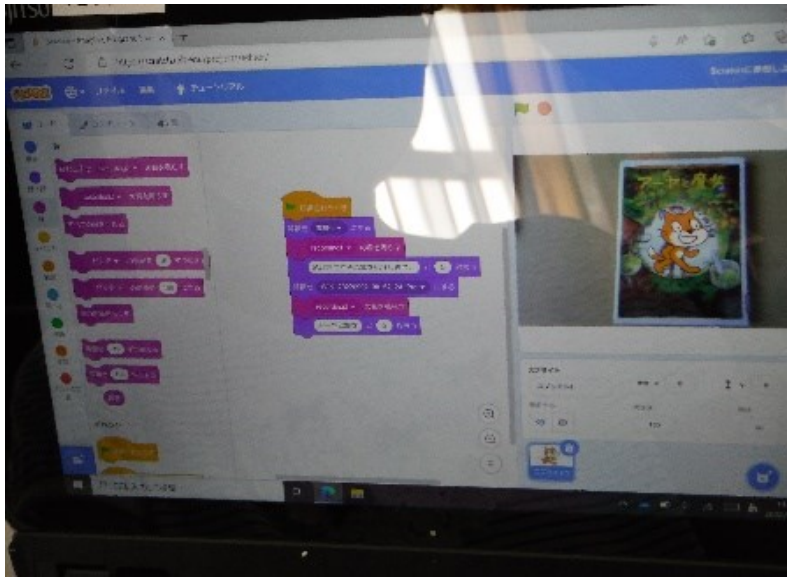
活用の効果

　写真や音声を入れることで、楽しく取り組めるとともに、写真や声の挿入方法を身に付けることができた。

活用時の留意点

　入れる言葉を事前にワークシートに書かせておく。

授業の様子（写真・参考資料）



【児童が作製した作品】

教材等保存場所	スクラッチ→各学年→4年→各教科→国語

【タイトル】福祉新聞を作ろう

教　科	総合的な学習の時間	単　元	みんなに優しいわたしたちのまち
活用するアプリ	ロイロノート	活用する場面	導入　・　展開　・　（まとめ）

児童の活動

　福祉体験後に障がいのある人の福祉について調べ、班ごとにテーマを決めて一つの新聞にまとめた。共有ノートを活用することで、班員が分担してつくったカードを一つにまとめていった。そして、全体で発表を行った。

実践内容（教師の支援）

　ロイロノートで班ごとに共有ノートをつくっておく。見本を資料箱に入れておき、それを参考にすることができるようにしておく。

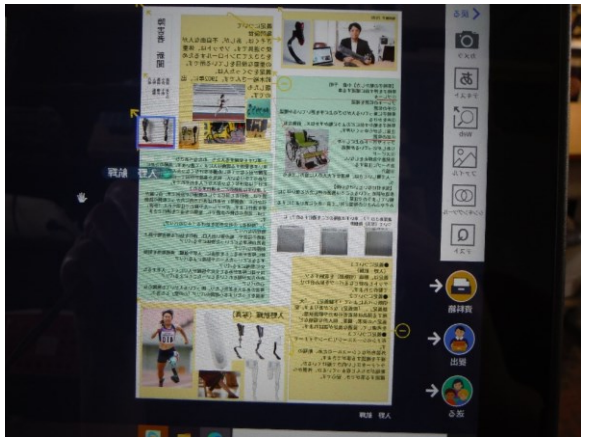
活用の効果

　タブレット上で操作することで、班員で協力していろいろな記事を集めて一つの新聞にすることができた。

活用時の留意点

　事前に紙面でこま割を相談してから取り組ませる。

授業の様子（写真・参考資料）



【児童が作製した作品】

教材等保存場所	ロイロノート資料箱→各学年→4年→各教科→国語

【タイトル】目の不自由な方とオンラインで交流しよう

教　科	総合的な学習の時間	単　元	みんなに優しいわたしたちのまち
活用するアプリ	zoom	活用する場面	導入　・　展開　・　まとめ

児童の活動

　目の不自由な方の生活について理解を深めるために、地域の視覚障がいの方にゲストティーチャーになっていただき、オンライン授業で自分たちが考えた質問をしたり、生活の様子や工夫を映像で紹介してもらったりする。

実践内容（教師の支援）

　ゲストティーチャーに事前に質問内容を知らせておく。zoomのスケジュールを設置し、IDとパスコードを伝えておく。

活用の効果

　zoomを活用して顔を見ながら話を聞くことで、興味を持って学ぶことができ、質問も積極的にできた。

活用時の留意点

　事前に質問を考えさせておく。

授業の様子（写真・参考資料）

【zoomを使って質問する児童】

【タイトル】　愛媛県内２０市町名テスト

教 科	社会科	単 元	愛媛県の広がり
活用するアプリ	EILS	活用する場面	導入　・　展開　・　まとめ

児童の活動

朝の時間や社会科の授業時間を使って、愛媛県内の２０市町名の定着を図るためのミニテストを行う。

実践内容（教師の支援）

紙媒体の問題用紙（問題番号の位置を変えて３パターン作成）を配付し、EILSを使って選択肢方式で回答させる。定着の様子を見ながら記述式に変えていく予定。

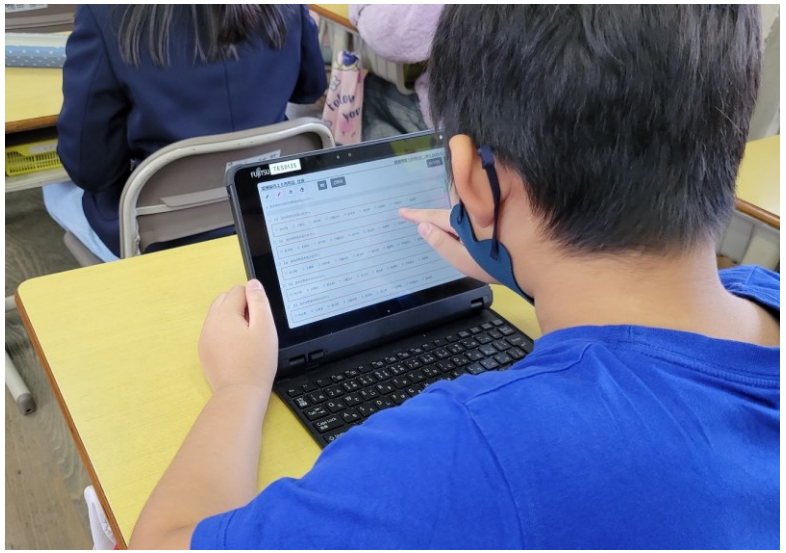
活用の効果

選択肢方式から記述方式に変えていくことで、児童の苦手意識を払拭できる。採点結果がすぐに集計されるので、次回に向けての課題の発見や意欲付けが容易である。

活用時の留意点

東中南予別に大問を分けている。問題を数パターン用意し、地図を見て答えることができるようにする。

授業の様子（写真・参考資料）



【活動の様子】

教材等保存場所	EILS→4年→社会科